武　一　中

令和６年１月９日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ５－１４号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

波が教えてくれたこと

校　長　　中嶋　建一郎

私が生まれ育った大島の自然から学んだことを話します。

皆さんにはなかなか想像できないでしょうが、海がすぐ近くにありました。高校生の時は、授業中でも窓から海が見えていました。自分の家からも自転車で 10 分もあれば、海に着きます。夏が近づくとよく海で遊んでいました。海に潜って貝を取って焼いて食べるのも遊びのうちです。台風の前後は波が高く危険なのですが、泳げない頃から浮き輪で波に乗るのが楽しくて遊んでいたこともありました。この海の波から学んだことがあるので、3 つ紹介します。

一つは、波に乗ることです。浮き輪でもサーフィンでも一緒だと思いますが、波が来た時に一瞬力を入れて水を掻きます。このタイミングが大事で、上手くいって波に乗れば、何もせずにそのまま岸まで連れていってくれます。タイミングがずれると波に置いて行かれます。ここが頑張り時だという時に力を入れるというのは、仕事をしていても大切だとよく感じました。仕事でも波に乗るといろいろなことが上手くいくことがあります。皆さんだったら勉強が当てはまります。ここだという頑張り時があると思います。

もう一つは、波の下はわりと平和だということです。これは波をよける方法なのですが、波を乗り越えようとすると白波に水中眼鏡を外されることがあります。そんな時は、少しもぐって波の下に入ると、波の力はゆったりとしています。平和な世界があります。でも、息をするために顔を出すタイミングは気を付けないといけません。次の白波に顔を出すと塩辛い海水を飲むことになります。

そしてもう一つは、様々なことが波のように捉えられることです。私はサッカー部の顧問をしていたことがあります。その時の攻撃方法が波のようでした。フォワードが攻めた後にミッドフィルダーが攻め、バックも後に続く、その間フォワードはバックの位置に戻るという攻撃です。横方向でも、広がったり狭めたりを繰り返すことで攻撃をしていました。この攻撃ができたチームは強かったです。サッカーの例でしたが、世の中の様々なことを波のように捉えることで理解が広がるのだと感じています。

私も自分が海で遊んでいるときには、このような考えはありませんでした。仕事を始めて様々な経験をする中で、これは海での経験と同じだなと感じるようになりました。皆さんには、この武蔵野で養われた皆さんの捉え方ができてくると思います。たぶん人それぞれ違いがあることでしょう。私が波から学んだことを参考にしてくれたらと思っています。

１日から災害のニュースが続いています。被災された皆様が一日も早く復興できることを願っています。